

化学工学会インターンシップの 受入れ報告



(株)ダイセル

生産技術本部 馬場 一嘉

商 号 株式会社ダイセル
英 文 商 号 **DAICEL CORPORATION**
設 立 1919年9月8日
資 本 金 362億7544万89円（平成28年3月31日現在）
売 上 高 連結 449,878百万円（平成28年3月期）
経 常 利 益 連結 65,404百万円（平成28年3月期）
従 業 員 数 約2,000名(ダイセルグループ約10,000名)
本社所在地 大阪本社
 大阪市北区大深町3-1
 （グランフロント大阪 タワーB）
 東京本社
 東京都港区港南2-18-1
 （JR品川イーストビル）

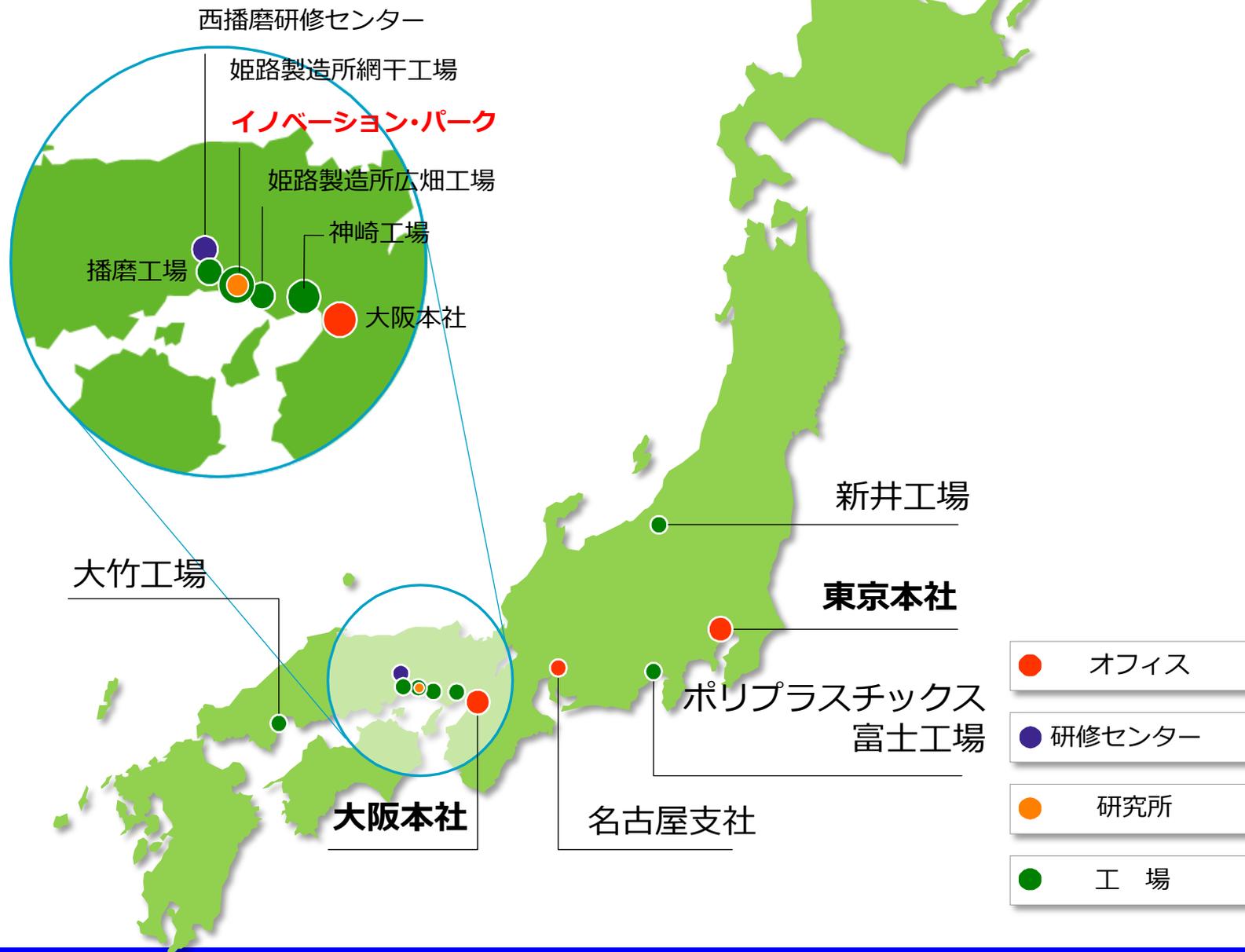
ホ－ム ペ－ジ <http://www.daicel.com>



大阪本社



東京本社



セルロース



酢酸セルロース
アセテート・トウ
水溶性高分子
(CMC、HEC、微小繊維状物など)

合成樹脂



POM、PBT、PPS、LCP、COC
スチレン系樹脂
ポリマーアロイ
長繊維強化樹脂
ポリアミド12、PEEK
ポリスチレンシート
各種成型トレー
包装用バリアフィルム
各種機能性フィルム
高発泡緩衝材ほか

有機合成



酢酸および各種有機合成品
ファインケミカル製品
エポキシ化合物
カプロラクトン誘導體
レジスト樹脂
高機能光源・光学用透明材料
(封止材・接着剤・成型材料)
プリントデバイス用溶剤
化粧品原料、ヘルスケア機能性素材
合成樹脂エマルジョン

キラル分離



キラルカラム
キラル試薬
キラル分取 (受託サービス)

火工品



自動車エアバッグ用インフレーター
(ガス発生装置)
マイクロガスジェネレーター
各種発射薬、コンポジット推進薬
パイロット緊急脱出装置ほか
各種火工品

その他の事業



水処理製品
逆浸透膜/限外濾過膜モジュール
各種水処理システム
散気装置
家庭用品
キッチン用品、清掃用品ほか
物流事業

1. 当社も社会貢献として化学工学分野のインターンシップ生を受け入れて育成したい
2. 2017年4月に新しい事業所「イノベーション・パーク」が出来、インターンシップ生を受入れる環境が整った
3. 企業イメージを高め、優秀な人材確保につなげていきたい

2017年4月に、総合研究所と姫路技術本社を統合し、新たな事業所として発足



Innovation for **P**roduction, **P**rocess and **P**roduct (3つのイノベーション) ⇒ 「iCube」



5階 カフェテリア

4階 執務ゾーン

3階 執務ゾーン

2階 会議室エリア

1階 レセプション・ホール

研究者の**コミュニケーション**を誘発
「**新たな融合を生む場**」

研究者の**パフォーマンス**・帰属意識を高める
「**ワクワクをもたらす場**」

研究者が**ひらめきのヒント**に出会える
「**感性を刺激する多様な場**」

インターンシップ生募集内容

- ・スケジュールは、夏休みや盆休みを考慮し、8月21日(月)～9月1日(金)とした
- ・総務労務部門と調整して受入れ条件を決定した
- ・テーマは、今回は実験関係が困難であったため、シミュレーションを主体として、「**蒸留および流体解析シミュレーションの実際と応用**」とした。

提出ルート：企業→化学工学会

2017年度化学工学会インターンシップ企業エントリーシート

企業名	[株]ダイセル		
Website	http://www.daicel.com/		
受入担当者	部署	生産技術本部	氏名 岡崎 一寿
	住所	072-1285 愛知県旭路市朝千田新倉1239	
	Tel.	079-275-7375	Fax 079-274-4024
	Email	ica_baiba@tp.daicel.com	
受入条件	人数	1名	
	期間*1	2017年8月21日～9月1日	
	場所	イノベーションパーク(旭路市)	
	対象学生	化学工学系専攻の修士課程1年生(男子、女子)	
研修内容	テーマ1	化学工場での仕事、特にシミュレーションやその応用に興味のある方 対象	
	テーマ2	蒸留および流体解析シミュレーションの実際と応用	
待遇	通勤料	旭路市(男子、女子)より 酒粕工場より、現住所(または東京)より	
	宿泊施設	旭路市(男子、女子)より 酒粕工場	
	宿泊費負担	企業負担 会社負担	
	報酬	特になし	

- ・1名の学生さんから応募があり、書類審査の結果、受入れを受諾した
- ・8月上旬に、受入れ案内、事前調査書、誓約書などを送付した
- ・具体的なテーマ等を、担当部門と調整し、詳細スケジュール化した
- ・具体的な指導は、若手技術者から行い、ベテランが要所で確認をした

8/21(月)	オリエンテーション、入寮説明、会社説明、事業所説明、安全教育
8/22(火)	網干工場見学、教育訓練センター、研修テーマ説明
8/23-24	蒸留シミュレーションとコスト最適化
8/25,28,29	CFDによる装置構造の改善案検討
8/30(水)	予備日、報告書作成
8/31(木)	企業における仕事の概要説明、報告書作成
9/1(金)	発表練習、成果発表会、退寮手続き、記念写真撮影

- ・設定したテーマを見て希望した学生さんに来ていただき、マッチングがうまくいった
- ・学生さんの希望に従い、一部、追加の説明などを実施し、満足をいただけた
- ・ある程度自由度があるテーマで、自らのアイデアでケーススタディーを実施でき、達成感も味わってもらえた
- ・2週間とは言え、実質は4～5日の研修となるため、やや時間が不足気味だった
- ・今後も、化学工学会のインターンシップ受入れを継続していきたい

インターンシップの目的

- ・ 化学工学が実際の現場でどのように応用されているかを身をもって体験する

高専時代にもインターンシップに参加
⇒ 応用化学に近い、基礎研究的な内容の研修
このため、次は 化学工学を芯においた研修 をしたいと考えました

- ・ シミュレーションが企業ではどのように活用されているかを知りたい

現在の研究室(装置工学グループ)
⇒ 実験とシミュレーション
このため、自分たちの研究を現場で使うところまで
実際に見てみたいということもあり、参加を決めました

成果報告会の発表資料(一部)

工場見学・会社説明

1日目 オリエンテーション・安全教育・会社説明・懇話会

2日目 オリエンテーション・工場見学

iParkでは
フリーアドレス・休憩スペースによって他部署の人間が一同(同僚)としてコミュニケーション
⇒ 他部署との連携で特許を獲得
他の会社にはない点で非常に驚いた

長期計画を社員主導で決定・あえて社員が掃除、草抜き
社員一丸となってやっている印象を抱いた

国内・世界シェアトップの製品も数多くあり、高い利益率を誇り
とにかく安定感と勢いがある会社だと思った

全体を通してのまとめ

化学工学が実際の現場でどのように応用されているかを身をもって体験する

⇒ 解析ツールを使っただけのコストを意識したプロセス設計など
学校では学ばないこと・プロセス設計の奥深さを体験できた

シミュレーションが企業ではどのように活用されているかを知る

⇒ 流動解析は想像していたよりアカデミックに近いことをやっており、親近感を抱いた

感想

⇒ 工場勤務はまた一味違った雰囲気という話を聞き、
そちらも体験してみたいと感じた

iParkや衣掛荘など恵まれた環境で研修をさせていただき、非常に満足できた